



平成 18 年 1 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブロッコリー
代表者名 代表取締役会長 木谷 高明
(JASDAQ コード 2 7 0 6)
問合先 取締役財務経理部長 興津 吉繁
(TEL 03 5946 2824)

事業再構築による特別損失等の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社を取り巻く環境は、雇用環境の改善による個人消費の増勢が見られる中、エンターテインメント市場の質的变化を迎えております。当社は平成 17 年 11 月の親会社の異動を受け、新しいエンターテインメント市場における成長企業としての発展に向けて来期に向けた業績改善のための事業再構築を行っております。その過程において、経営効率を高めるべく、各種施策の事業性を再評価するとともにコストの削減を検討してまいりました。

これらの業績改善に向けた事業再構築に伴い、特別損失を含む処理損失の発生が見込まれますので、その概要をお知らせするとともに、平成 17 年 10 月 19 日付当社「平成 18 年 2 月期中間決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 18 年 2 月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績改善に向けた事業再構築による特別損失等の発生及びその内容

(1) 計画見直しによる損失引当・・・70 百万円

ゲームソフト等の開発は長期間にわたるものもあり、この間に市場環境の変化によって事業見通しが大きく変動するものがあります。その中で、発売時の事業性が当初計画と変更されるものに対する損失引当として 70 百万円を見込むこととしました。(特別損失)

(2) たな卸資産の廃棄による軽量化等による損失・・・170 百万円

ブロッコリー単体のたな卸資産については、平成 17 年 8 月中間期において評価方法を見直し、従来の発売開始 2 年経過の製・商品から、1 年経過のものも対象とする評価減対象の厳格化(評価減)を行ってまいりました。これにより、製・商品の期末処理追加見込み 60 百万円(売上原価の増加)、及び管理コスト削減を図るために当該製・商品の廃棄による損失 50 百万円(特別損失)を見込んでおります。

今般、米国子会社 (Broccoli International USA Inc.) についてもたな卸資産の洗い直しを実施し、米国における消費者の動向及び流通業者に預けるといふ商取引事情を勘案し評価を実施いたします。これにより 60 百万円の損失(特別損失)を見込んでおります。Broccoli

International USA Inc.では、いわばアンテナショップの位置付けであるため多目のたな卸資産を保有してきた経緯がありますが、今後その機能は継続するものの、評価を厳格化するものであります。

(3) その他資産の繰り上げ償却等による損失 55 百万円

業績改善に向けた事業再構築と財務基盤の強化の一環として、各種資産・事業の事業性を見直すとともに借入金の借り替えや繰り上げ償還等を実施いたします。

アニメ資産繰り上げ償却 (売上原価増加 25 百万円)

借入金の借り替え・繰り上げ償還による費用増加 (営業外費用 10 百万円)

その他事業化中止等による損失 (特別損失 20 百万円)

2. 平成 18 年 2 月期 連結業績予想の修正

(1) 通期(平成 17 年 3 月 1 日~平成 18 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	8,470	425	931
今回修正 (B)	7,908	691	1,365
増減額 (B - A)	562	266	434
増減率	6.6%	62.6%	46.6%

(2) ご参考：前期の実績(平成 16 年 3 月 1 日~平成 17 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期 (3/1~2/28)	8,533	392	478

3. 平成 18 年 2 月期 単独業績予想の修正

(1) 通期(平成 17 年 3 月 1 日~平成 18 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	8,258	421	926
今回修正 (B)	7,729	671	1,285
増減額 (B - A)	529	250	359
増減率	6.4%	59.4%	38.8%

(2) ご参考：前期の実績(平成 16 年 3 月 1 日~平成 17 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期 (3/1~2/28)	8,350	425	510

4. 修正の理由

(1) 売上高

第3四半期までの実績が本日発表の「第3四半期財務・業績の概要」のとおり、主に国内本社部門の自社製品卸売、イベント売上及びロイヤリティー売上の未達でありました。なお、第4四半期に投入予定であった新製品(ゲームソフト「ギャラクシーエンジェル2」)は、事業再構築の一環で来期に投入することといたしました。これらの要因により売上高が529百万円(6.4%)計画を下回る見通しであります。

(2) 経常利益

売上高の未達要因に加え、当期は自社製品売上の減少の結果売上総利益率が低下したこと、上記1の事業の見直しによる売上原価の増加85百万円によって売上総利益が伸びないこと、並びに借入金借り替え・繰上げ償還による営業外費用が10百万円増加することにより、経常利益が266百万円計画を下回り経常損失が691百万円となる見込であります。

(3) 当期純利益

経常利益の未達に加え、上記1の特別損失の追加発生185百万円によって、当期純損失は計画比434百万円の1,365百万円となる見込であります。

なお、池袋本店の一時閉店の費用は補償金による補填があり損失は発生しておりません。

上記の修正理由は連結ベースのものであります。連結と単体の主な差異はBroccoli International USA Inc.による在庫評価減見込み60百万円(特別損失)でありますので、単体の説明は省略しております。

以 上

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により予想数値と異なることがあります。